

---

# 青空直下スケープゴート

彼也

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

青空直下スケエプゴオト

### 【Nコード】

N9542Y

### 【作者名】

彼也

### 【あらすじ】

他人と接するのが苦手な衣月に告白した美少女は、悪魔でした。ノノ表向きは武術学校として通っている末凜学園。そのトップメンツや悪魔との争いに、衣月も巻き込まれることに…。

## エピロオグ

「きつと君は彼女に惹かれていくよ」

そう言った彼は口元を歪めた。

見たことのない歪な笑みだった。

「それでもいいよ。僕はそれでいい。だけどね衣月。だけどね僕と君は離れることはできないよ。たとえ君が彼女に恋をされても、君が彼女に恋をしても、僕たちは永遠にこのままずるずると同じ時を過ごすことになる」

笑みが深くなる。

「手を差しのべたのは僕だ。手を取ったのは君だ。自業自得。うん、いい響きだよ。自業自得、自業自得。君はあの日、全てを捨てて僕を選んだんだ。そして今もその手の中に何も無い。なぜならば僕という存在のせいだ」

彼はベットへ仰向けに寝そべった。そして俺に手招きをする。

「僕は君と、あまりに不一致すぎるんだよね。だから君は僕に強く惹かれる。僕は僕に惹かれる君に強く惹かれる。僕を愛してくれるのはこの世で一人、君だけだから」

枕元に近づくと、彼は俺の腕を強く引いた。倒れこむことはなかったが、バランスを崩しベットの上に右膝をついた。

「それでも君が他の人を愛することを止めはしない。むしろ嬉しいよ。実の母すら、実の姉すらも切り捨ててしまうような君に愛すべき人ができたというだけで」

でも、と彼は言う。

「本当は、君に伝えたいことがある。文字にして五文字。それを今日、君に伝えてみようと思う。彼女のことを聞いた時から言いたくて言いたくて仕方なかったんだけど、僕はずっと我慢していたんだ」  
彼は腕を掴んでいた手を離し、両手で俺の頬を包んだ。

そして彼は口を開いた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9542y/>

---

青空直下スケープゴット

2011年12月1日19時46分発行